



広袴便り

広袴町内会
会報第 63 号

発行日
2024(令和6)年
6月1日

発行責任者
広袴町内会
小堺 幸男

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にす町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

広袴町内会定時総会

二〇二四（令和六）年四月二十八日、令和六年度の広袴町内会の定時総会が広袴会館で開催されました。司会は川良徳広氏（1組）、書記が斉藤英樹氏（13組）。小堺幸男町内会長の挨拶の後、議長に中田辰英氏（10組）を選出し、議案の審議に入りました。

- 第一号議案 令和五年度事業について
 - 第二号議案 令和五年度決算について
 - 第三号議案 令和六年度町内会事業について
 - 第四号議案 令和六年度会計予算について
 - 第五号議案 令和六年度役員選出について
- 以上の議案について審議が行われた結果、すべての議案が承認されました。

1. 会員総数 六三三
2. 出席者数 一〇〇、委任状 四〇七
3. 議案承認数 五〇七
4. 委任状未提出数 一二六

この後、二〇二四～二五年度の会計監査役に吉川和章氏（3組）と齋藤嘉男氏（12組）の二人が選出されたとの報告があり、最後に小堺会長から一〇八組の新任委員と全組の新任班長の紹介がありました。

町内会長・副会長の挨拶

■町内会会長 小堺幸男（ござかい・ゆきお）



二〇二四（令和六）年度定期総会へのご出席、誠にありがとうございます。会員の皆様にご協力頂き、無事終了しました。町内の抱える課題も山積しておりますが、皆様との対話を通じて、より良い環境づくりを進めて参りたいと思っております。

防災関係では、六月に安否確認訓練、また秋には自主防災訓練を行う予定です。秋の防災訓練では、怪我や骨折の際の三角巾の巻き方、AEDの使い方、またスタンドパイプ訓練等の実践的な訓練を行います。自助、共助のための訓練です。会員の皆様は必ずご参加くださいますようお願い申し上げます。

防犯関係では、町田警察生活安全課の方をお招きし、詐欺、泥棒対策等のお話をさせていただきます。最近はお妙な手口が増えております。今後とも広袴町内会をよろしくお願い致します。

お知らせ！
夏祭り
盆踊り大会
7月27日



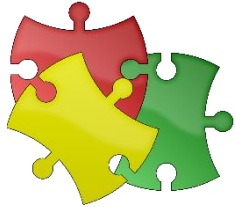
■副会長 捧政智（ささげ・まさとも）



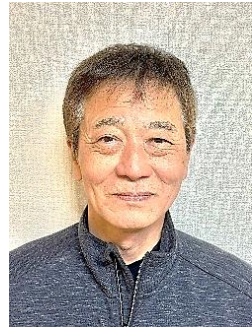
花の盛りもいつか過ぎて、葉桜の季節を迎えました。初夏を思わせる陽ざしに、日陰を探してしまうこともあります。長いコロナ禍が緩和になり、昨年度は夏祭りなど、例年通り行事・活動が行われました。

各委員さん、班長さん、会員の皆さまにおかれましては、日ごろのご協力に感謝申し上げます。広袴町内会は活動が活発で、町内の清掃、調整池クリーンアップ、夏は盆踊り納涼まつり。秋は鶴川地区町内自治会主催の大運動会、長きに渡り行われている作品展示会。防犯活動では、年末パトロール、子ども会との共催でのドント焼きなど、盛り沢山の行事が行われております。

役員規定により、会長・副会長は一期二年、二期までとなっており、今年度は副会長として最後の年になります。今年度の担当は、環境厚生部と防犯交通部になります。皆様が参加して楽しい町内会にしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。



■副会長 水野利雄（みずの・としお）



町内会副会長の水野利雄です。今年もよろしくお願い申し上げます。総務と会計を担当させていただきますが、

このポジションにおいて、一層の努力を惜しまず、町内会の発展と皆様のご信頼にお応えできるよう精進してまいります。

総務では、町内のイベントや行事の円滑な運営に務め、皆様が安心して参加できる環境を整えることを心がけます。具体的には、各委員会の充実を図り、イベントや行事の企画・準備・運営に関するサポートを強化していきます。また、参加者の声に耳を傾けた改善を行い、より多くの方々に満足していただけるよう努めてまいります。

会計では、承認を頂きました予算に基づき、効果的な費用の削減や会計規則に則って管理を行い、適切な使途に充てるよう努めます。何かご不明な点やご提案がございましたら、いつでもお気軽にご連絡下さい。

皆様とともに、より良い町づくりに努めて参りたいと思っておりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



■副会長 茶花健太郎（ちやばな・けんたろう）



会員の皆さま、今年度も引き続き副会長を務めさせていただきますことになりました。茶花です。広報部と文化部を担当させてい

ただくことになりました。

昨年を振り返ってみますと、やはり一番は「夏祭り・盆踊り大会」でした。コロナ禍で中断し、四年ぶりの開催とあって、役員も手さぐりで、ほとんど何もわからない状態でのスタートでした。この間、苛酷ともいえる数ヶ月でしたが、終わってみれば、とても良い思い出となりました。

大会が成功したのは、広袴町内会の皆さまのお力、サポートがあったからです。障害にぶつかった際に、声をかけてくださり、それが支えとなったからです。本当にありがとうございます。

今年も夏祭りを成功させ、皆さまへの恩返しができますよう精一杯頑張ります。昨年同様、お気軽に声をかけてください。皆さまの広袴ライフの一助となりますよう、私自身も楽しんでまいりたいと思っております。この一年、どうぞよろしくお願い致します。



令和6年度 広袴町内会組織 & 関連団体 (敬称略)

2024年5月12日

広袴町内会
総務部

広袴自主防災隊	
隊長	小谷 英彦
13-C	

副隊長	
工藤 哲朗	8-A

副隊長

青木 伸泰	2-A
-------	-----

副隊長

吉川 啓二	5-B
-------	-----

広楽会

会長
河野 眞鑑

8-A

相談役

石倉 秋夫

11-B

相談役

池内 正雄

16-B

会長

小堺 幸男

15-C

子ども会

会長
橋本 草

8-A

副会長

水野 利雄

10-B

副会長

茶花 健太郎

15-D

副会長

樺 政智

5-A

総務部

部長
齊藤 英樹

13-B

文化部

部長
佐々木 悟

16-A

広報部

部長
渋谷 寿

12-C

防犯交通部

部長
菅井 俊樹

15-A

環境厚生部

部長
及川 絢太

11-B

副部長
吉川 佳伸

14-B

副部長
根岸 孝一

9-D

副部長
大石 司

8-A

副部長
久野 久美

1-A

副部長
飯塚 洋

3-A

副部長
磯貝 祐

4-B

文化部 会長

13名

副部長
諸墨 晃子

2-A

広報部 会長

7名

防犯交通部 会長

12名

環境厚生部 会長

12名

- ① 大川 幸男 (3-C)
- ② 霧生 貞一 (5-A)
- ③ 平林 キヨ (5-B)
- ④ 森 妙子 (8-A)
- ⑤ 徐 立静 (9-B)
- ⑥ 浦岡 利信 (11-B)
- ⑦ 佐藤 裕幸 (13-A)
- ⑧ 八木 敏行 (13-B)
- ⑨ 内村 広治 (14-A)
- ⑩ 林 武矢 (14-C)
- ⑪ 松村 久子 (15-A)
- ⑫ 吉野 健吾 (15-C)
- ⑬ 山口 あや子 (16-D)

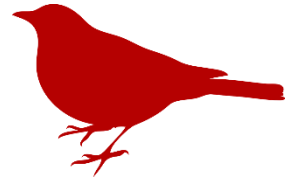
- ① 渡邊 祥聡 (1-B)
- ② 長谷 芳教 (1-C)
- ③ 高橋 史晃 (4-A)
- ④ 水野 亜矢 (9-A)
- ⑤ 久保田 高穂 (11-A)
- ⑥ 新堀 牧子 (15-D)
- ⑦ 南部 修 (16-B)

- ① 根本 靖大 (2-A)
- ② 大塚 秀男 (3-B)
- ③ 佐藤 進 (4-C)
- ④ 角谷 弘記 (6-B)
- ⑤ 高橋 憲明 (10-A)
- ⑥ 坂本 信弘 (10-B)
- ⑦ 洞口 栄二子 (10-C)
- ⑧ 森本 亮平 (12-A)
- ⑨ 阿久津 義則 (12-D)
- ⑩ 飯田 忠司 (14-B)
- ⑪ 五十嵐 義明 (15-B)
- ⑫ 邊見 幸大 (16-A)

- ① 宮田 洋一 (1-A)
- ② 吉川 毅 (2-B)
- ③ 田辺 明夫 (2-C)
- ④ 布野 美和 (3-A)
- ⑤ 堀 啓至 (4-B)
- ⑥ 近藤 敏文 (6-A)
- ⑦ 阿部 重雄 (7-A)
- ⑧ 楢松 紘一 (9-C)
- ⑨ 中村 晃紘 (9-D)
- ⑩ 佐々木 政行 (12-B)
- ⑪ 尾崎 順一 (12-C)
- ⑫ 吉村 昌樹 (16-C)

2024（令和6）年度 広袴町内会の年間行事（予定）

2024/06/09(日)	災害安否確認訓練
07/21(日)	広袴公園調整池周辺のクリーンアップ
07/27(土)	納涼夏祭り・盆踊り大会（予備日8月3日）
09/08(日)	自宅周辺クリーンアップ
09/29(日)	神明社秋季禮大祭（9/28、神明社宵宮祭）
10/20(日)	鶴連交流事業・運動会（野津田公園競技場）
10/27(日)	大規模防災訓練、スタンドパイプ訓練等（広袴公園）
11/09,10(土日)	作品展示会
11/17(日)	広袴公園周辺クリーンアップ
12/29,30(日月)	歳末防犯パトロール
2025/01/11(土)	ドント焼き



自主防災隊長の交替

広袴自主防災隊の隊長が、今年度、吉川哲央氏から小谷英彦氏（13組）に代わりました。



このたび自主防災隊長に任命されました小谷英彦と申します。

今、全国各地で大きな地震が相次いで発生しています。そして近い将来、首都圏直下地震の発生も予想されています。町田市北部は比較的安全性の高い地域と言われていますが、いったん災害が起きれば家屋の倒壊や火災の延焼はまぬがれたとしてもインフラの停止やトイレの確保、水、食料品の配給遅延など復旧までに多くの時間を要します。

昨年の暮れに「東京くらし防災・東京防災」という書物が配られました。全部読み切るわけにはいきませんが、日頃から目のふれるところにおいて関心を持ちつづけ、災害が起きた時に最小限の被害で済むように日々備えていきましよう。

自主防災隊は少人数ですが、日頃から安否確認訓練や防災訓練をはじめとして、多方面から地域の防災・減災に努めていきたいと考えています。今後とも自主防災隊へのご支援、ご協力をお願い致します。

お知らせ

安否確認
訓練

6月9日



輪投げ大会で準優勝

二〇二四（令和六）年一月二日（金）、町田市老連主催輪投げ競技大会がサン町田旭体育館で開催されました。コロナ禍で縮小されていた会が復活し、今年、例年通りの大会となったものです。

三二チーム約二〇〇名が参加し、広袴の広楽会輪投げ部が準優勝という快挙を達成しました。

この結果、六月二日（金）、東京都中野区立体育館で開催される東京大会に出場が決まりました。毎週木曜日、広袴会館で練習をつづけた成果です。

なんとも素晴らしい！おめでとうございます。

輪投げ？子供の遊び？とんでもございません。

輪投げは、五メートル先の得点板（1〜9点）に向けて、九本の輪を投げ、1から9の得点板に輪が入った合計点を競います。

広楽会の輪投げ部は、木曜日の九時から一時までの二時間、通常部員七名で練習しております。部員は随時募集しております。

広楽会（現在七七名在籍）では、このほかにグラウンドゴルフ、将棋、麻雀、手芸の会、日帰り旅行など盛りだくさんの行事を行っております。ご興味のある方、どうぞ気楽にご参加ください。

参加ご希望の方は、広楽会の河野真鑑会長（042-735-1198、090-9832-0391）までご連絡ください。



歳末防犯パトロール

昨年の一二月二九日と三〇日の二日間、年末恒例の防犯パトロールを行いました。

参加者は四つのコースに分かれ、拍子木を打つ音に合わせて、「火の用心」と声を出しながら、町内を三〇分ほど歩きました。途中、外灯が暗いところはなにか？危険な場所はないか？などの確認もしました。私は、歳末パトロールに初めて参加しましたが、拍子木が重かったこと、拍子木の打つ音に負けないよう「火の用心」の声掛けをしたこと、はじめはちよつと恥ずかしかったが、とてもワクワクドキドキの体験でした。

一日目は広報誌用に写る写真がブレてしまい、使えそうな写真は一枚もありませんでした（苦笑）。



隣近所が寄り合い、地域の安全を願う防犯パトロール。地味ではありますが、とても素敵な活動だと思います。来年度はもっと沢山の方々に参加して、ワイワイガヤガヤ、みんなで大きな声を出しあい、スッキリして（笑）、年明けを迎えるのも悪くないなあ〜と思いました。

お寒い中参加された皆さま、準備してくださった役員の皆さま、お疲れ様でした。町内を巡回したあと、暖かい飲み物をいただいて、心もポカポカになりました。ありがとうございました。

（15組 穂積良輔）



ドント焼きの主な目的は、お焚き上げし、その煙にのって歳末神様が天にお戻りになるのを、お見送りすることです。また、お焚き上げの煙や火の粉にあたり、無病息災、五穀豊穡、家内安全、子孫繁栄などを祈願します。

ドント焼きでは、お正月に飾ったお飾りやしめ縄、お礼、お守り、ダルマなど折捨てられたものや、神事に使われた縁起物はお焚き上げできます。

この日は午前中から雲が広がり、いまにも天気が崩れそうなか、点火を待っていたかのように雨が降り始めました。しかし、点火の瞬間を待っていた参加者は、火が落ちついでから、お焚き上げの火を囲み、各自持ち寄ったお団子やマシユマロを温めて、頬張っていました。このほっこりとした雰囲気の中で、地域の絆がより強く結ばれるのを感じます。

以前より小規模になったドント焼きですが、その分目が行き届いて、安全に行われていると感じました。今年もドント焼きが開催できたのは、地主の大塚さんのご厚意で、田んぼを使わせていただいたからです。感謝申し上げます。

ドント焼きのイベントは、あいにくの雨にも負けず、地域の人びとを一つにする素晴らしい機会でした。参加された方々は、自然とともに新しい年を迎え、地域の結束を感じながら、心温まるひとときを楽しみむことができました。

（4組 大津純子）

ドント焼き



神明緑地をきれいに！楽しく！
「鶴二おやじたちの会」参加者募集

みなさん、お気づきでしょうか！

一月下旬、神明神社の裏道に吊るされた手書きの看板。ごみを捨てた場合の「懲役又は罰金規定」が書き写されている。これは、広袴に拠点を持つ「鶴二おやじたちの会」が町田市推奨の「アダプト・プログラム」事業⇨市民と行政が協働で進める「まち美化プロジェクト」の一環として行った。

不法投棄されたゴミを回収。草を刈り、廃ほだを並べ、「ゴミを捨てないで」というアピールを発信。それだけではない。「チカンにご注意」の看板のある小道の広場で毎月一回、子どもたちとの「森遊び」活動も行っている。

例えば、スラックラインやターザンロープ、農業用カートでのカーレース、森のプラレール、そしてリリース前提の「虫取り遊び」など。気の向くまま、ここを我々は「ポケモンの森」と呼んでいる。



看板には「ポケモンをつくった男〜田尻智〜」（小学館）の一節「ポケモンの原点は、町田の森で工夫や研究をしながら、虫を捕まえたこと」との記事を掲示。その本に込められた「考え続ければ必ず答えが見つかる」というメッセージを胸に活動を続けている。

きっかけは、二〇〇四年に起きた佐世保小6女児殺害事件。文部省が呼びかけた「命の教育」の実践として行った。鶴川二小の校庭で、「カブト虫を育て観察する活動」を皮切りに、二〇〇八年には「カブト虫バトル」を開発。二〇一二年には陸前高田と交流戦を実施。

二〇二一年からは、「リモートかぶと虫相撲」を展開。今年はいまの時期、森にいるポケモンを毎月、切り絵で表現する活動」にも挑戦中。森の活動はいつでも参加者、募集中です。

※六月は九日（日）。一〇時集合。神明緑地チカン注意の看板下。一六時解散予定。

七月は一三日（土）、カブトムシ観察会も計画。フェイスブック「鶴二おやじたちの会」でご確認を。（問合せ）篠田道秀（4組）（090-4394-9440）

広袴に住んで二〇年

わが家は、二〇〇四年冬、ちょうど第二子が誕生するタイミングで広袴に引っ越してきた。この地に住んでまもなく二〇年、その子は成長して今年二〇歳になる。時の経過と子どもの成長は早いものである。

広袴に住むことを決めたのは、まず、生活に必要な商業施設や駅が適度な距離にあり、第一子が多かった保育園にも近く便利であること、また、緑が多く自然が豊かで、子育てに最適な環境と思われたからだった。

住宅の区画を選ぶ際には、安全性を考えて通過交通がほとんどない所を選んだが、家の周りの路上でも安心して子どもを遊ばせることができ、とても良かったと思う。庭の手入れなど外仕事に熱心な隣人が多く、いつも子どもたちにも声をかけ、温かく見守ってくれたことに大変感謝している。

移り住んでみれば、広袴周辺は、想像以上に素晴らしい子育てに適した環境だった。子どもの笑い声が絶えない近所の広袴公園、足を延ばせば広い緑地と遊具が揃った真光寺公園、広場を取り囲む鶴川団地センター商店街のほか、至る所に公園や緑地、水辺や遊歩道がある。

その後、第三子も生まれ、週末ごとに小さな子どもたちを連れて、いろいろな公園を渡り歩くのが楽しみだった。

末っ子が成長するにつれ、いつのまにか公園とは縁遠くなったが、二〇二〇年からのコロナ感染拡大による在宅勤務体験をきっかけに、今度は夫婦で近隣を散歩するようになった。そうして、広袴周辺には、住民が自然を楽しみ憩うための空間が豊富であることを再発見した。

私自身も五〇歳後半となり、一〇年以内には退職する。仕事上の付き合いは減るが、そうであっても、これまで子どもたちの保育園や学校、スポーツ活動などを通じて得られた友人・知人がいるのはありがたい。子どもたちと一緒に成長した公園の桜や街路樹、近隣の宅地の植栽も、二〇年の歳月を経て成熟した姿を見せている。仕事が一段落したらボランティア活動などに力を入れ、今度は地域に恩返しをしようかと考えている。
(12組 桜井邦夫)



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴2-17-14
TEL 042(736)0959 FAX 042(736)0453

吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00
午後 3:30 ~ 6:30
日・祭日 / 休診

町田市広袴 3-3-11 ☎ 735-3487

編集後記

▼今年度最初の「広袴便り」をお届けします。昨年までは七月発行でしたが、今年から六月になりました。町内会報は、広袴町内会が主催する行事を会員の皆様にお伝えすることが主な目的です。二〇〇四(平成一六)年一月一日付で創刊号を出し、毎年3回の刊行で、今年の六月号は第六三号となります。▼二〇年ほど前、都市公園(現・都市再生機構)の定期借地契約があり、広袴の地に住居が増えました。今回、二〇周年を記念し、長年広袴にお住まいの皆様にも「広袴に住んで〇〇年」と題して、「ご感想などを書いてもらうことになりました。▼三〇歳台で移住された方は今五〇歳台、定年退職後に移住された方は八〇歳台になります。そして元々広袴にお住まいの方、という三つのケースを考え、掲載していきますが、居住年数に関係なく、この地に住んでの思い出等を、寄稿したいと思っ方、歓迎します、会報の編集を担当します渋谷寿(12組)(gy3h-sby@asahinetor.jp)までご連絡ください。▼今年度の「広袴便り」の取材・編集担当は、渋谷のほか大石司(8組)、渡邊祥聡(1組)、長谷芳教(1組)、新堀牧子(15組)、南部修(16組)、水野亜矢(9組)、高橋史晃(4組)、久保田高穂(11組)というメンバーです。よろしくお願いたします。

広袴おりおり

第35回

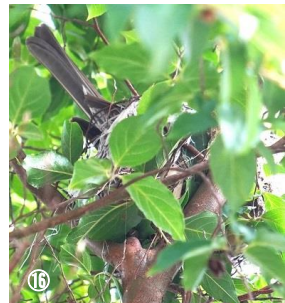
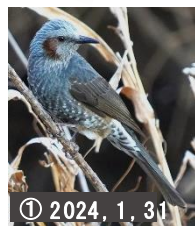
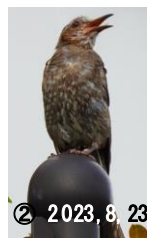
ヒヨドリ様々な生態

ヒヨドリは最もよく観られる野鳥の一種である。広袴周辺でも①の広袴池のアシの枯れた茎や、②の真光寺川沿いの住宅の柵のポール上や、③の尾根道東端の里山周辺や、④の神明神社南側付近等々、どこでも見られる為、様々な生態が観察できる。

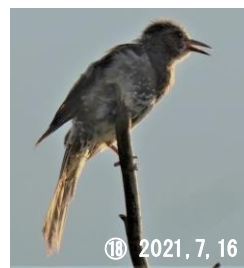
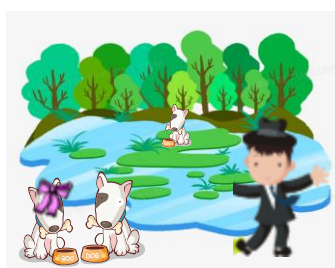
②、⑬は囀る姿。⑤は飛翔姿。⑥はミカン畑を多数の群れで採餌していた際の見張り役と思われる。⑦⑧は各種実を啄んでいる姿。⑬は広袴池で水を飲む姿。警戒からか大抵二〜三羽が一緒である。⑭はつがいと思われる。

⑮⑯は住宅の庭の樹に営巣した様子。気付いたOさんのご協力の下、撮影させて頂いた。⑮の巣の材料にはビニール紐が混ざっていた。また角度を変えて撮影した⑯は尾が見えており、静かに抱卵しているのが分かる。この時には巣立ちを観られなかったが、別な機会に、⑰の通りTさん宅の庭に突如現れた雛をご本人が咄嗟に撮影した写真を提供して頂いた。

⑱⑳は全て尾根道東端の里山周辺で観られた幼鳥である。



ベランダにふいに現るふわふわのヒヨドリの雛試験始まる
(十六組 篠田泰蔵)



余話

写真は⑳
は、夏の

盛り、真光寺川の浅瀬でヒヨドリの幼鳥が水浴びをしていた場面である。幼鳥は、成鳥に比べて体が細いので暑さは大敵である。気持ちが良いのかバシャバシャと羽ばたかせ、繰り返し浴びていた。

㉒は終わった直後に小枝に移ったところ。頭頂部の羽毛が濡れていることになっている。

